

検査後、下着に血液が付いたり、便に血液が混じることがあります。また精液に血が混じり、赤色～茶褐色になることがあります。前立腺に針を刺したために生じる症状で、治療は必要ありません。

5. 前立腺針生検で副作用が生じた場合について

一連の検査は、すべて慎重に安全性を確認しながら行ないます。もしも途中で重い副作用があらわれた場合、すぐに臨床研究を中止し、最善の手当をいたします。

「1. はじめに」でご説明したように、この臨床研究への参加の同意をいつでも撤回することができます。同意を撤回され、途中でこの臨床研究への参加治療を中止する場合でも、あなたが不利益をこうむることはありません。

この検査を受け、からだの異常に気づかれた場合には、担当医師、または、看護師にすぐに連絡してください。直ちに適切な処置を行ないます。副作用や異常が生じたときには、あなたに自覚症状がない場合でも、こちらから速やかに医学的対応をいたします。

6. 医療費について

この検査にかかる費用は、当院がすべて負担します。この検査に同意され、受けられた場合でも、余分なお金を負担していただくことはありません。

ただし、この臨床研究の期間内であっても、この研究と関係のない病気に要する医療費には、これまでどおり公的医療保険が適用され、その医療費にかかる一部負担金等は負担していただきます。

この臨床研究（前立腺針生検を含む）との関連が否定できない副作用が生じた場合、この副作用に対する検査や治療にかかる医療費についても当院が負担いたしますので、患者さんの医療費負担はありません。あなたの健康被害がこの臨床研究と関係があるかどうかの判定は、私たちとは利害関係の